

揚圧力の算出結果の違い

安定計算条件	チェックを付けた項目	T2無視	揚圧力(水圧の仕様)			
			任意		頭首工	
分離式構造で計算	揚圧力を簡易計算	—	①	-26.195	①	-26.195
		レ	①	-26.195	①	-26.195
	全浸透路長本体のみ	—	②	-24.081	①	-26.195
		レ	②	-24.081	①	-26.195
	チェック無し	—	③	-32.380	①	-26.195
		レ	④	-27.940	①	-26.195
一体化構造 (分離式にチェック無)	揚圧力を簡易計算	—				
		レ				
	チェック無し	—				
		レ				

- ①：分離式構造、T2無視、簡易計算による揚圧力
- ②：分離式構造、T2無視、浸透路長(本体部のみ)による揚圧力
- ③：分離式構造、**T2考慮**、浸透路長(エプロン含む)による揚圧力
- ④：分離式構造、T2無視、浸透路長(エプロン含む)による揚圧力
- ⑤：一体化構造、**T2考慮**、簡易計算による揚圧力
- ⑥：一体化構造、T2無視、簡易計算による揚圧力
- ⑦：一体化構造、**T2考慮**、浸透路長(エプロン含む)による揚圧力
- ⑧：一体化構造、T2無視、浸透路長(エプロン含む)による揚圧力